



# 令和7年度 教育委員会事務点検・評価報告書

はじめに	1
1 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員会定例会	2
(2) 総合教育会議	5
(3) その他	5
2 教育委員会における事務の管理・執行状況	
(1) 学校教育	6
(2) 生涯学習	9
(3) 芸術文化の振興と文化財保護	10
(4) 生涯スポーツ	10
3 外部委員評価	11

2026年6月

井川町教育委員会

## はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが定められました。

本報告書は、第26条の規定に基づき、本町教育行政の充実発展を目指すとともに町民への説明責任を果たすため、達成度を評価したものです。

### 第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委託された事務を含む）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### □ 評価スケジュール

- 3月 教育委員及び事務担当の自己評価
- 3月 外部評価委員へ評価の依頼
- 4月 評価結果のまとめ及び教育委員会定例会で評価を議決
- 6月 評価結果を6月議会に提出
- 6月 評価結果の公表（井川町ホームページ）

### □ 対象事業

- ・教育委員会が直接関与している事業或いは活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- ・教育委員会が管理・執行している事務事業や教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

### □ 点検評価基準

A	達成している ねらいに沿った具体的成果が表れている
B	おおむね達成している 具体的な成果が表れているが改善の余地がある
C	達成していない 事業の見直しを含めた検討が必要である

### □ 外部評価委員について

点検・評価内容の客観性を確保するため、教育に関して学識を有する外部委員に意見と総評をいただきます。外部委員には、令和7年教育委員会9月定例会で小武海文恵氏（羽立）を議決し、評価をいただきました。

1 教育委員会の活動状況  
 (1) 教育委員会定例会

月	開催日	審議内容
4月定例会	4月24日(木)	<p>【議決事項】            (第17号) 令和7年度就学援助児童生徒の認定について(追加)</p> <p>【協議事項】            ・教育委員&amp;児童生徒ミーティング(案)について</p> <p>【報告事項】            ・井川町教育委員会事務点検・評価報告書に係る外部評価について            ・令和7年度第57回東北町村教育長連絡協議会定期総会・研究大会について            ・令和7年度井川町学力向上協議会について            ・新北市姉妹校締結までのスケジュールについて(案)            ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</p> <p>【学力向上協議会】            ・県学習状況調査分析結果、今年度の学習・研究重点説明、授業評価</p>
5月定例会	5月27日(火)	<p>【議決事項】            (第18号) 招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について</p> <p>【報告事項】            ・東北町村教育長研究大会、全国教育長研究大会について            ・第1回学校応援協議会について            ・井川町立学校教育職員の地域クラブ活動に係る兼職兼業の許可等に関する要綱の制定について            ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</p> <p>【第1回教育委員&amp;児童生徒ミーティング】(9年生)            (話題) 台湾修学旅行について</p>
6月定例会	6月23日(月)	<p>【報告事項】            ・令和7年第2回井川町議会定例会(6月定例)について            ・台湾姉妹校プログラム協定書締結について            ・台湾修学旅行アンケート結果について            ・男鹿潟上南秋中学校総合体育大会の結果について            ・地域クラブ活動に係る兼職兼業の許可の決定について            ・井川さくら塾夏期講習について            ・夏休み体験事業について            ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</p>
7月定例会	7月28日(月)	<p>【協議事項】            ・新北市教育局(委員会)と教育分野での国際交流における覚書締結について</p> <p>【報告事項】            ・第2回学力向上協議会協議内容について            ・生徒指導上の課題について            ・給特法等の一部を改正する法律について            ・校則等の見直し状況調査結果(全国)について            ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</p>

月	開催日	審議内容
8月定例会	8月26日(火)	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾新北市国際姉妹校締結について</li> <li>・全国学力状況調査(概要)について</li> <li>・井川さくら塾受講者の感想について</li> <li>・秋田県吹奏楽コンクールの結果について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</li> </ul>
9月定例会	9月24日(水)	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会委員の任命について</li> <li>・人事案件について</li> <li>・部活動改革のためのカリキュラムについて</li> <li>・令和7年第3回井川町議会定例会(9月議会)について</li> <li>・きまりをみんなで考えるプロジェクトについて</li> <li>・井川さくら塾秋期講習について</li> <li>・男鹿潟上南秋中学校英語暗唱弁論大会の結果について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</li> </ul> <p><b>【学力向上協議会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力状況調査分析結果、授業改善進捗状況、授業講評</li> </ul>
10月定例会	10月29日(水)	<p><b>【議決事項】</b></p> <p>(第19号)井川町教育委員会事務外部評価委員の委嘱について</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊の異常出没への対応</li> <li>・国の教育政策の動向について</li> <li>・いかわ夕学の会について</li> <li>・12月総合教育会議について</li> <li>・第2回学校応援協議会について</li> <li>・男鹿潟上南秋秋季体育大会の結果について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</li> </ul> <p><b>【第2回教育委員&amp;児童生徒ミーティング】</b>(生徒会執行部)</p> <p>(話題)学校や生徒会について</p>
11月定例会	11月25日(火)	<p><b>【協議事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な子どもの就学について</li> <li>・井川町中学校部活動地域移行推進計画(案)について</li> <li>・令和8年度井川町教育委員会人事構想(案)について</li> </ul> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全州市町村教育委員会教育長会議について</li> <li>・部活動改革のための時間割の見直しについて</li> <li>・秋田県秋季体育大会の結果について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</li> </ul>

月	開催日	審議内容
12月定例会	12月15日(月)	<p>【議決事項】 (第20号)井川町教育委員会職員の異動に係る内申について</p> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井川町中学校部活動地域移行推進計画素案について</li> <li>・井川町教育委員会人事構想(管理職)について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月定例議会について</li> <li>・教職員多忙化防止の進捗状況について</li> <li>・9年生の進路状況について</li> <li>・6年生の入部状況について</li> <li>・学校保護者アンケート結果について</li> <li>・井川さくら塾冬期講座について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</li> </ul>
1月定例会	1月27日(火)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の懲戒処分について</li> <li>・秋田県学習状況調査結果について</li> <li>・部活動地域移行推進状況について</li> <li>・井川さくら塾(秋期・冬期)受講者の感想について</li> <li>・9年生の進路状況について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</li> </ul> <p>【学力向上協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習状況分析結果、授業講評</li> </ul>
2月定例会	2月20日(金)	<p>【議決事項】</p> <p>(第1号)令和8年度教職員の異動に係る内申について (第2号)井川義務教育学校卒業式告辞について</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度就学援助費の額改定について</li> <li>・学校応援協議会評価について</li> <li>・業務量管理・健康確保措置実施計画について</li> <li>・井川町架け橋プログラムについて</li> <li>・9年生の進路状況について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事について</li> </ul>

月	開催日	審議内容
3月定例会	3月25日(水)	<p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度井川町教育委員会事務点検・評価報告について</li> </ul> <p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(議案第3号) 令和8年度井川町教育委員会職員の異動に係る内申について</li> <li>(議案第4号) 令和8年度井川町教育方針について</li> <li>(議案第5号) 井川町教職員のウェルビーイング推進計画について</li> <li>(議案第6号) 井川義務教育学校入学式告辞について</li> <li>(議案第7号) 井川町教育委員会事務外部評価委員の委嘱について</li> <li>(議案第8号) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について</li> <li>(議案第9号) 井川町地域学校協働活動推進員の委嘱について</li> <li>(議案第10号) 令和8年度就学援助児童生徒の認定について</li> <li>(議案第11号) 井川町学校応援協議会規則の一部を改正する規則について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井川義務教育学校教職員の異動について</li> <li>・令和8年第1回井川町議会定例会(3月議会)について</li> <li>・令和8年度井川町学力向上協議会について(案)</li> <li>・井川義務教育学校の進路先最終報告について</li> <li>・井川町学校教育関係補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>・井川町教育委員会関係補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について</li> </ul>

(2) 井川町総合教育会議

開催日	案件
12月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換</li> <li>※ 広域での学校部活動の地域展開について意見交換した。</li> <li>・その他</li> </ul>

(3) その他

- ・井川町教職員研修会 (第1回4月2日)
- ・学校授業視察 (4月24日、9月24日、1月27日)
- ・学校給食試食 (4月24日、9月24日、1月27日)
- ・公民館諸行事 (町民体育大会 6/29、二十歳の集い 8/15)
- ・学校諸行事 (入学式 4/8、運動会 5/24、学校祭 9/6、学習発表会 12/12、卒業式 3/6)

2 教育委員会における事務の管理・執行状況

(1) 学校教育

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>学力の向上</p>	<p>× 対話や討論のある授業が展開されている。 ※対話はよく行われているが、討論については中期や後期でそのレベルまで達していないことが多い。</p> <p>× 公設塾の参加者数が前年度を上回る ※昨年度は延べ95名、今年度は延べ86名で、前年度を9名下回った。</p> <p>○ 読書が好きな児童生徒が県平均を上回る。(県学習状況調査) ※県平均が70.6Pに対し、井川は74.0Pと3.4P上回った。</p>	<p>《教育委員会による学校訪問等と指導助言》 教育長による訪問のほかに、教育委員による授業視察は年3回行われ、現状を把握するとともに、教育委員会・学校連絡会議等において指導助言を行っている。また、子ども達の願いや考え方を把握する機会として教育委員&amp;児童生徒ミーティングを年2回開催し、子どもだけでなく大人も交えた話し合いの場を設けた。 学力向上協議会では、県学習状況調査・全国学力状況調査について、学級全体・1人1人の学習状況について全教科にわたり統計学的分析をして学校に提供している。</p> <p>《「武埴三山」「洲崎遺跡」副読本の活用》 「武埴三山」副読本は、6～9年生で副読本を活用した授業を行っており、教育長も授業を行った。 「洲崎遺跡」副読本授業では、7年生が町内の板碑等を巡るフィールドワークを行い、洲崎遺跡への理解を深めた。</p> <p>《公設塾「井川さくら塾」の開催》 5～9年生を対象に公設塾「井川さくら塾」を開催した。教科は算数・数学で、夏・冬休みを利用した夏期・冬期講習は、昨年度と同じく7～9年生は基礎・応用に分けて行っている。参加者は夏期45名、冬期26名であった。また、新たに9～11月に、7～9年生を対象に秋期講習(教科、クラス分けともに夏期冬期講習に同じ)を開催した。参加者は15名であった。いずれも参加者の満足度は高かった。</p> <p>《図書カードの贈呈や学校図書館への支援》 例年同様、読書活動の充実のため、町内の全児童生徒に図書カードを配布した。また、図書カードの使用状況を把握するためにアンケート調査を行った。 学校図書館に図書システムを導入し、入出庫を管理し、借りやすい環境を整備している。</p>	<p>B</p>

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	社会性の伸長	<p>○ 社会的事象や出来事への関心が高くなる。(県学習状況調査50%以上)            ※今年度は学年平均が50, 0%で目標に到達した。</p> <p>○ 他学年と協力したり仲良くするなどの関係が強くなる。            ※3. 6 (社会教育調査全校平均3. 6以上。)</p> <p>— 修学旅行参加者の意識変容が半数を上回る。(教育活動効果測定)            ※最後の調査を3月2日に実施したが、結果は3月末に出る予定である。</p>	<p>《秋田空港見学とアスレチックたいけんかい・スケート体験会の実施》            1年生から3年生までの児童35名が参加した「秋田空港見学とアスレチックたいけんかい」は、雨天のためアスレチックでの活動を止め、急遽体育館でのスポーツ活動を行った後、秋田空港を見学した。昨年度に引き続き学生サポーターを募集し、5名の参加があった。            4年生から6年生までの児童27名が参加した「スケート体験会」は、スケート指導員によるスケート教室の後、自由滑走でスケートの難しさと楽しさを体験した。こちらも学生サポーターを募集し、4名の参加があった。</p> <p>《井川みらい学への外部講師招聘》            地域学校協働活動推進員や婦人会員等、地域の方々を講師として招聘し、盆踊り等の授業を行った。</p> <p>《いかわ夕学の会の開催》            12月に聖霊学園高校ハンドベル部によるクリスマスコンサートを開催し、児童生徒と町民が一緒に楽しんだ。</p> <p>《海外修学旅行の実施》            5月に9年生、11月に8年生が3泊4日の日程で台湾修学旅行を実施した。参加は、5月の9年生23名・教職員3名・町職員3名の計29名、11月の8年生19名・教職員4名・町職員3名の計26名である。生徒達は現地学生との交流や施設見学・ランタン上げなどの異文化にふれ、国際理解を深めた。なお8年生は、8月に台湾新北市4校と姉妹校締結した内の1校「金山高級中学」を訪問し、交流を図った。修学旅行後のアンケートからは、概ね好評価を得ることが出来た。            併せて8年生の修学旅行については、台湾の体験が意識の中でどう影響するのかを測定する効果測定を実施した。</p>	A
	温かな心・健康な体	<p>○ 生命尊重や思いやりに関する意識が高まる。            ※3. 3 (社会性調査3. 3以上)</p> <p>○ 体力調査の県平均との差が前年の県平均との差を上回る。            ※検定値平均が-0. 95から-0. 21に減少</p>	<p>《教育支援委員会によるこども・保護者への支援》            特別な支援を必要とする児童生徒や保護者について地域・学校・教育委員会等が一緒になって情報共有やどんなサポートが必要なのか協議し、1人1人の教育的ニーズに応じた支援を行った。</p> <p>《町健康副読本の活用への支援》            今年で7年目となる全校児童生徒とその保護者へ向けた尿検査とアンケート調査を実施した。なお、保護者と一緒に家庭での食生活の振り返りができるよう、結果表を返却している。            健康副読本を活用して学習を始める4年生に対して、大阪大学及び近畿大学の先生方から授業を行ってもらった。子ども達はクイズやグループワークを通して、町の健康への取り組みと塩分について学習した。</p> <p>《不登校等のケース会議の開催》            不登校等のケース会議は2回開催し、ケース報告に対しスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、民生児童委員等から助言をいただき不登校の対応を進めている。</p> <p>《全校児童生徒への自転車ヘルメット購入補助》            自転車運転時のヘルメット着用が努力義務となったことから、児童生徒が安全に過ごせるように、補助対象を今までの後期生に加え、前中期児童全員に拡充した。</p> <p>《通学路の安全とスクールバスの安全な運行》            スクールガード・リーダーや健全育成少年サポートチーム「井川さくら」と協同に、通学路や校内の安全確認を行った。クマの出没も多発したことから、学校・家庭・地域が連携し登下校時の見守りを実施するとともに、スクールバスの運行を含め通学時の安全確保を行った。</p>	A

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>地域とともにある充実した学校</p>	<p>○ 学校応援協議会の提言に対応している。</p> <p>× 土日の部活動地域移行が完全実施となる。 ※実施体制や要綱の設置などではできたが、一部で教員が指導している状態が続いている。</p>	<p>《学校応援協議会の運営と充実》 学校の授業参観を実施するなど、年3回開催した。委員からは積極的に意見が出され、その都度提言に対して対応を検討している。また第2回には生徒との意見交換を行い、子ども達の声を積極的に聞く機会も設けている。</p> <p>《幼小接続連絡会議におけるカリキュラムの検討と作成》 児童の交流だけでなく、こどもセンターと学校の教職員同士がお互いを訪問することにより、連携の強化を図った。また、会議において丁寧に協議し、架け橋期カリキュラムを作成した。</p> <p>《休日等の部活動地域移行》 令和6年度より取り組んだ休日等の部活動地域移行は、外部コーチを休日等の地域クラブ指導者とし、全ての運動部（野球・柔道・卓球・女子バレー・男子バスケット）が実施した。文化部の吹奏楽部は休日等の指導者の確保が難しく、保護者の見守りにより休日等の活動の実施体制を確保した。また、安心して活動できるように生徒・指導者の保険加入を進め補助するとともに、併せて指導者謝礼を支援している。</p> <p>《給食無償化と並行した食育推進への支援》 令和5年度より子育て世帯への支援拡充のため、義務教育学校における給食の無償化を行っている。 食育では、産直生産グループの代表者との打ち合わせを毎月行っており、また、これまで同様に井川産の野菜や果物を献立に多く取り入れて提供している。また、お便りや掲示板、学校放送等で食材について紹介している。</p> <p>《学校における協働活動》 3、6年生の総合的な授業（みらい学）での盆踊り指導、8年生家庭科でのミシンや浴衣の着付指導など、様々な授業へ地域の人たちが講師となって参加した。</p>	<p>B</p>
<p>課題と今後の方向</p>			<p>学力向上について対話のある授業に至らない課題に対し、教育委員の授業視察で教員一人ひとりに改善を促したり激励したりするなどの方策を試行したい。また公設塾の参加人数を増やし、教員との共同で新たな学習スタイルを模索して学力向上につなげたい。さらに、部活動地域展開や時間割の見直しなどで教員の余裕時間を増加させることで、教員の安定した心身が子どもたちに好影響を与えるように配慮を厚くしていくべきと考える。 姉妹校との交流については、教育委員会として学校の負担が増加しないよう支えたり支援を継続すべきである。</p>	

(2) 生涯学習

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>豊かで楽しい学習機保障</p>	<p>○ 参加者の減少に歯止めがかかる。 ※各事業で増減はあるが、全体的に歯止めがかかっている。</p> <p>× 各種事業の満足度が向上する。 ※聞き取りでの感触は良かったが、調査を行った事業が少なく向上の度合いを計れていない。</p>	<p>《いかわ夕学の会、「学びウォーク」の実施》 いかわ夕学の会は1回の開催であったが159人の参加があり、昨年度平均(2回開催で平均84人)を大きく上回った。 学びウォークについては、今年度3事業を予定していたが、2事業の実施となった。その1つであった町民自然ウォーキングについては昨年度の中止を踏まえ、町民の意見やニーズを参考にし、町民ぶらり旅へと名前を変え実施した。内容も気軽に参加しやすいものとしたことで大変好評を得た。 いかわラン、ふるさとフォトウォークについては熊の出没により内容の変更を余儀なくされ、中でもいかわランについては学びを入れることができなかった。</p> <p>《満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善》 町民ぶらり旅については町民ニーズに答える形で実施し、予定人数に達するなど好評を得た。次回開催に向けて聞き取りを行い、開催月や旅の場所について意見収集することができた。いかわ夕学の会は満足度調査を実施し満足度は高かった。気軽に参加できる内容を評価する声があった。なお、子ども夏まつりや長期休みの体験事業など子どもを対象する事業は満足度調査を実施できていない。</p> <p>《民間団体やグループによる主催事業運営の移行》 事業運営を完全に移行できたものはないが、子ども夏まつりは当日各育成会から人が集まり、事業運営をお願いしている。同事業については、生涯学習奨励員やちいきメイトが事業参画し、それぞれ企画事業を行った。</p>	<p>A</p>
	<p>地域の教育力向上への支援</p>	<p>× 公民館図書室の貸し出し冊数が増加する。 ※2月末で1,709冊の貸し出しがあり、前年同期で75冊の減となった。</p> <p>○ 家庭教育支援の事業が充実する。 ※昨年度と同様に事業は実施した。今年度、架け橋カリキュラムを作成した。</p>	<p>《リサイクルbookフェアの開催のほか図書室の広報や展示の工夫》 「いかわりサイクルBOOKフェア」を学習発表会以外で初めて開催した。事前に町民ボランティアを募集し、頒布する本を選定、当日の運営も行った。 公民館図書室については、本年2月末時点の統計では、利用者は509人と前年同期比で増加したが、貸出冊数は1,709冊にとどまり、前年比で約80冊の減少となった。熊の出没による閉館対応という要因はあったものの、新刊情報の発信(広報・HP)や、県立図書館との連携、ポップ掲示や季節展示などの工夫により、来館者数の底上げを図った。貸出冊数の減少については、1人当たりの貸出冊数の減少や書籍のニーズの変化が考えられるが、アンケート調査等を行っていないので正しい分析はできていない。</p> <p>《読書活動や家庭教育支援での、他施設との連携強化》 家庭教育支援事業では、学校での就学時健診時に、保護者を対象に県の職員を講師として、家庭教育講座を実施した。また、いかわランやふるさとフォトウォークに家族で参加できる区分を継続して設けている。 読書活動では、図書システムにより公民館図書室とみなくるの蔵書内容を共有し連携を行った。</p> <p>《架け橋カリキュラムの作成》 令和6年度から進めていた5歳児から6歳児時期の架け橋カリキュラムが完成した。こどもセンター職員、学校教職員と意見交換を重ね作成している。令和8年度から保護者に配布し、今後カリキュラムに沿って進めていく。</p> <p>《子ども教室の多様な講座や取り組みへの支援》 地域学校協働活動推進員が中心となり、算数や英語、スポーツ体験や工作など、子どもが楽しく学べるように工夫した教室を開催した。打ち合わせを通して推進員の考えが活動に反映されるよう支援を継続している。</p>	<p>B</p>
		<p>課題と今後の方向</p>	<p>これまでもアンケートや聞き取りによる調査を行い、その要望に答える形で「いかわ夕学の会」や「町民ぶらり旅」を実施し好評を得ている。一方で満足度調査等が行えていない運動会や子どもを対象とする事業については、振り返りも漠然としているのが課題である。満足度だけでなく別の指標を考えると、調査等の方法も検討していきたい。 昨年度から募集を始めた学生ボランティアは問い合わせも多く、関心の高さが感じられる。今は事業補助だけとなっているが、今後は事業参画も行えればと考えている。 また多世代交流事業にも関わらず参加者層が偏って目的が達成できない等、目的と参加者層のギャップが見られるため、再度目的を注視して参加して欲しい層へのアプローチを検討していく。</p>	

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	郷土の歴史・文化の保護・継承・活用	○ 専門家の提言した民俗資料館の改善策に着手する。 ※資料館を閉鎖して目録整理などを開始。	《ふるさとフォトウォークの実施》 今年度は井川町の施設や彫刻などの対象を増やし、板碑だけではなく町の歴史、文化、施策を知るきっかけ作りを目的に準備を行った。直前の熊の出没状況からエリアや方法を変えての実施となったが、上記のきっかけ作りにはつなげなかった。 《歴史民族資料館指導助言の実施》 歴史資料に関する専門人材がいながらも、提言された台帳のデータ化を進めた。 《学校と連携した伝統文化の継承と町民への啓発》 義務教育学校3年生、6年生の「井川みらい学」において、盆踊り体験を行った。婦人会や八大保櫓の会などの協力を得て実施し、最終日には保護者への発表会を行った。また、3年生は保存会の協力の基、願人踊り、今戸民謡手踊りの体験も行った。	A
	芸術文化の振興	○ 芸術文化団体・サークルへの活動支援を充実させる。 ※団体補助の継続と公民館教室等の発表機会の提供を行った。	《芸術文化振興をふまえた公民館の展示等の活用》 さくらまつりの「歌と踊りのつどい」は悪天候のため、中止となったが、「公民館まつり」では昨年度のステージ発表をブラッシュアップし、各団体の日頃の活動の成果を発表するのみならず、観客も一緒になって楽しむ「参加型」の企画も取入れ、会場の一体感を高めることができた。また、町民作品展でも多くの作品出展があり、文化振興に寄与した。	A
課題と今後の方向			資料館については進みは遅いが改善に着手している。人材や人員不足により全体像を描けていない課題があるので、まずは人材の確保を優先していきたい。 芸術文化の振興については「公民館まつり」という箱を最大限活かすように取り組んでいくとともに、引き続きサークル等への支援の充実を図りたい。	

(4) 生涯スポーツ

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	生涯スポーツの振興	× 各種大会やイベントの満足度が向上する。 ※聞き取りでの感触は良かったが、調査を行えていなく向上の度合いを計れていない。 ○ 組織の見直しで大会が活性化化する。 ※参加人数に減少は見られたが、大会等の運営に各団体の役割を増やし、より一体となって実施することが出来た。	《町民体育大会や各種スポーツ大会の実施》 町民体育大会をはじめ、いかわラン、各種スポーツ大会を実施した。町民体育大会では事前に種目内容を有線で周知するなど興味関心を持ってもらうよう努めた。町民からは「たのしそうだ」、「出たい」などの声や、「楽しみにしている」という声が聞こえ、効果を感じた。各種スポーツ大会については、協力団体に昨年度より多く役割を移し、行政と団体が一体となって運営することができた。バスケットボール大会については、参加チームが減少したこともありゲーム内容を変え、より公式に近い時間配分で開催した。選手一人ひとりの生き生きとしたプレーを見る事ができ、「疲れるが、これはこれで楽しくていいかも」との声があった。 《町民ぶらり旅やいかわランの実施》 町民自然ウォーキングの代替事業として町民ぶらり旅を開催した。参加者ニーズを踏まえ、運動要素の強度を変えて実施している。町散策を通して運動機会を創出し、より気軽に参加できるよう工夫した。 いかわランについては、直前にコースでの熊の出没が確認され、コースや距離等を変えての実施となった。大きな混乱もなく終えることはできたが、屋外行事の難しさ・課題を改めて感じた。後日、協力団体に意見徴収を行ったが、参加者向けの満足度調査は行っていない。	A
	課題と今後の方向			スポーツ大会については関係団体の関りを増やし、運営移譲に向けて着実に進んでいる。また団体からの意見を取り入れることで活性化が見られた。今後更なる移譲を図りたい。 満足度調査については調査自体が難しい行事もあるので、調査対象を洗い出し、できない行事についての新たな指標を検討していきたい。 また熊の出没による屋外行事の対応が新たな課題としてでている。

## 「教育委員会における事務の管理・執行状況」の外部評価

### (1) 学校教育

#### ①学力の向上

- ・県学習状況調査・全国学力状況調査について、分析結果を学校に提供後、利用状況を確認しているか。1人1人に対して分析していることから、学校は面談に限らず平時も利用すべきと考える。
- ・副読本で学習することにプラスして、実際に目で見て体感しており、より理解が進むと思える。今後親子で巡るとか新たな取り組みにも期待したい。
- ・公設塾について、開催の日程を増やし、また参加者の満足度が高かったのは大変評価できる。
- ・図書カードの贈呈により児童生徒が本にふれる機会が増えた。読書好きにつながると感じているので、是非続けて欲しい。

#### ②社会性の伸長

- ・体験活動は、毎回工夫されており、楽しみにしている子どもが多くいると聞く。家族から離れて町の大人や友達と過ごす1日は、子ども達の成長にとってよい影響を与えると考える。子ども達は素敵な思い出を作りたい。
- ・いかわ夕学の会の開催を毎回楽しみにしている。ハンドベルの演奏を参加者は喜んでいただけると感じた。
- ・海外修学旅行を3回行って学校も定着した感はあるのではないかと。「楽しかった」などの感想を兄弟姉妹と話したり、部活動で話題にしたりすることで興味をもつ生徒が増えるのではないかと期待している。

#### ③温かな心・健康な体

- ・子どもに自転車ヘルメットの着用を促すには、実際に「もの」がないと説得力に欠けるので、後期生のみならず前期生に対しても行き渡ったのは大変意味がある。実際にかぶっていない子を見なくなり、子ども達の安全のためにとっても大事な事業である。

#### ④地域とともにある充実した学校

- ・総合的な授業で地域の方々が講師となって参加していることは大変よい。子どもや孫が卒業することで、学校は近寄りやすいものがある。そうした中で子ども達と関わる機会やきっかけとなっており、また核家族化が

進む現代において子ども達にとっても様々な大人と関わる場所となっており評価できる。子ども達はたくさんの地域の方々と接し、色々なことを学び、心豊かに育って欲しい。

## (2) 生涯学習

### ①豊かで楽しい学習機会の保障

- ・屋外の事業については今後も熊の問題はついて回ると考える。対策や工夫を求める。

- ・いかわランについては、もう一度目的や方向性を決めて開催した方がよいのではと考える。児童生徒の参加についても工夫が必要と感じる。

- ・よい事業を実施していても満足度調査が行えていないことで結果がバツとなるのはもったいない。事業をブラッシュアップするにもアンケート調査等は必要と考えるので、是非取り組んでもらいたい。

### ②地域の教育力向上への支援

- ・架け橋カリキュラムが着々と進められていて大変よい。多くの成長が見られる大事な時期なので、こどもセンター・学校・行政が一体となり井川の子どもを導いて欲しい。

- ・評価について、公民館図書室の貸し出し冊数の減が「B」評価の原因になったように見える。他の取り組みや内容から、概ね成果を上げているので「A」評価でよいのではと考える。

## (3) 芸術文化の振興と文化財保護

### ①郷土の歴史・文化の保護・継承・活用

- ・ふるさとフォトウォークについて、直前に熊の出没があったにも関わらず、きちんと対策をして中止することなく開催できたことは高く評価できる。

- ・歴史民俗資料館の問題は、少しずつでも前に進んでいるように感じている。町の歴史・文化の保護・継承はとても大切だが、専門的なことも多く大変難しい。今できることをやりながら、時間をかけてよいので進めて欲しい。

- ・盆踊りは大人でも踊れない人がいる。子どものうちに正しい踊りを覚えることは、ゆくゆく自分達の宝物になると考える。文化継承のためにも続けて欲しい。

## ②芸術文化の振興

- ・公民館まつりで参加型の企画をしたことは大変よい。一緒に楽しむことでより思い出に残ると考える。

## (4) 生涯スポーツ

### ①生涯スポーツの振興

- ・町民体育大会は運動の目的だけでなく、町民同士のつながりや会話を楽しむことなども目的の一つと考えている。その中で子どもの参加が少ないことが心配だ。学校にも協力してもらい児童生徒の参加を促してもらいたい。

□全体的に町民や子ども達のためによく考えた行事が行われている。今後ほどの行事も必ずアンケートを取り、参加者1人1人のニーズや満足度を把握したい。

□活動が多岐にわたり、専門人材が必要であったり、人員が不足していたりと苦勞を感じるが、少しずつでも前進しているのが評価される。

□熊の話題や自転車ヘルメットの利用を見ると、より命を守ることを考える。子ども達の安心安全、特に命を守ることを一番に考えて欲しい。

令和7年度外部評価委員 小武海 文恵